

○ 1年白組 生活「なつは たのしいことがいっぱい」

【めあて】 どうぐやとばしかたをくふうして、「まい しゃぼんだま」をつくろう。



授業の初めに、「前はストローでしゃぼん玉を作ったので、今回は別の道具を使って大きなしゃぼん玉を作りたい。」という前時の振り返りを紹介しました。また、前回の「しゃぼんメーカー」を用いて、個々の到達度を確認し、自分が決めた「まい しゃぼん玉」を作るためには「何を」「どのように」工夫すると良いかを考えながらしゃぼん玉遊びを行うことを伝え、本時のめあてを設定しました。その後、各自で道具や飛ばし方を自己選択し、学習を進めていきました。

①



【選択内容】 (作りたいしゃぼん玉)

大きさを変える、量を変える、形を変える、しゃぼん玉同士をくっつける

○ 【道具】 ハンガー・うちわ・ペットボトルモール等

○ 【飛ばし方】 吹く・振る・走る

○ 【動かし方】 速く・ゆっくり・上下に

②



「大きなしゃぼん玉を作りたい」を選択した子どもは、ハンガーにたっぷりしゃぼん液を付け、手の動かし方でしゃぼん玉の出来栄がどのように違うかを確認していました。友達に「横に動かしたら上手にできたよ。」「上下に動かしてもできた。」などと自分がどのように「まい しゃぼん玉」を作ったかを伝え合う姿が見られました。

授業の終末には、「大きなしゃぼん玉の作り方が分かり、上手にできてうれしかった。今度は、自分が入れるしゃぼん玉を作りたいです。」と活動を振り返ることができました。

「一度にたくさん作りたい」や「小さなしゃぼん玉を作りたい」を選択した子どもは、うちわや段ボールの切れ端など各自が見付けた道具を使って、試行錯誤を繰り返し、どの子どもも「まい しゃぼん玉」を見付けることができました。

授業の終末には、「道具を変えても一度にたくさんしゃぼん玉を作れたけど、私はうちわが一番良かったです。」「段ボールで小さなしゃぼん玉ができてびっくりしました。」と振り返ることができました。

○ 2年赤組 生活「なつは たのしいことがいっぱい」

【めあて】カイゼンしてより良いおもちゃを作ろう！！



授業の初めに、「1年生とのおもちゃ大会のために、作ったおもちゃをカイゼンしてより良いおもちゃを作ろう。」と伝えました。次に、前時に決めた自分自身の目標「もっと遠くに飛ばしたい。」「1年生が使いやすいように工夫したい。」などを振り返りました。そして、同じおもちゃを同じ目標で作る友達が誰かを知ることで、教え合ったり参考にしたりする仲間を確認しました。その後、注意事項を伝え、学習を進めていきました。

①



【選択内容】

- 【おもちゃ】ゴムロケット・ジェットカー
紙トンボ
- 【材料】大きさの違う輪ゴム・固さの違う紙など
- 【作り方】大きさ・長さ・デザイン

②



ジェットカーを選択した子は、もっと遠くに動かすことや、1年生が遊びやすいようにすることを目標に、車軸を長くしたり、タイヤに入れる粘土の量を調整したり、発射台の大きさを変えたりと、カイゼンを繰り返しました。

授業の終末には、「段ボールをつなげたら、一枚より長く進ませることができたし、1年生も使いやすいそう。」「粘土を入れすぎるとタイヤは取れないけど、遅くなった。」といった振り返りをする子どもが見られました。

ゴムロケットを選択した子は、もっと遠くに飛ばすことや1年生が楽しめることを目標に、割り箸をつなげるときの長さを変えたり、ロケットの形や重さを変えたりと、カイゼンを繰り返しました。

授業の終末には、「ゴムを掛ける部分は長くした方が良い。ゴムが伸びやすかった。」「たくさん引っ張ったら、遠くに飛んだ。」「トイレットペーパーの芯を重ねたら、良く飛んだ。」といった振り返りをする子どもが見られました。

○ 3年白組 国語「だんらくの要点をつかもう」

【めあて】自分の計画にそって学習を進め、「めだか」のだんらくごとの要点をつかもう。



授業の初めに、「前は一人で取り組んで時間がかかりすぎたので、今回は友達とも考えてみる。」といった前時の授業の振り返りを数人分紹介しました。そして、前時の授業を踏まえ、本時の授業について見直しをもって取り組むことの大切さを確認しました。

次に、本時の活動で大切となる「段落の要点のつかみ方」を確認した上で、本時のめあてを設定しました。その後、自分で本時の学習方法や内容を選択し、学習を進めていきました。

①



②



【選択内容】

- 【方法】 一人で・友達と
- 【読む】 教科書・デジタル教科書
- 【書く】 ノート・紙のプリント
デジタルプリント

一人で学習することを選択した子は、教科書を読みながら、タブレットのデジタルプリントに沿って、中心となる文や語を探したり段落の見出しを考えたりすることで、段落の要点をつかむ様子が見られました。

授業の終末には、「集中して取り組めて、すべての課題が終わった。次は、友達とやり、違う考えを見付けたい。」といった振り返りをする子どもが見られました。

友達と学習することを選択した子は、それぞれが見付けた中心となる文や語をもとに、より大切となるキーワードについて意見交流したり、困っている友達にアドバイスをしたりすることで、段落の要点をつかむ様子が見られました。

授業の終末には、「一人で考えた後、友達と考えることで早く取り組めた。次も、一人で考えた後に友達と考えていきたい。」といった振り返りをする子どもが見られました。

○ 4年赤組 算数「小数」

【めあて】いろいろな場合の小数の筆算の仕方を考えよう。



授業の初めに、「小数の筆算は整数のときと仕組みは同じ。ポイントは、小数点の位置を合わせることだと分かった。」といった、前時の授業の振り返りを数人分紹介しました。そして、課題に対して「一人で取り組む」「友達と取り組む」この二つのそれぞれの良さについて考えさせました。次に本時の活動で大切となる「筆算の説明の仕方」を確認した上で、本時のめあてを設定しました。その後、本時の学習方法や内容を選択し、学習を進めていきました。

①



②



【選択内容】

- 【方法】一人で・友達と
- 【計算する】ノート・紙のプリント
デジタルプリント
- 【説明する】ヒントカード使用

一人で学習することを選択した子どもは、タブレットに送られたヒントカードを参考にしながら、筆算の仕方の説明を考えたことで、筆算の手順や計算する上でのポイントをつかんでいきました。

授業の終末には、「説明は自分の言葉で書いていたけど、友達の説明も良かったので、これからは友達の考えも参考にしながら説明を考えたい。」「今日は一人で考えたけれど、集中できてよかった。」といった振り返りをする子どもが見られました。

友達と学習することを選択した子どもは、筆算の手順を確認しながら、より良い説明の言葉を一緒に考えたり、計算の進め方に悩んでいる友達にアドバイスをしたりすることで、筆算の手順やポイントをつかんでいきました。

授業の終末には、「説明がよく分からなくて友達に聞いたら、思い付いていた考えだった。上手に説明できるようにしたい。」「友達に教えることができたので、小数がもっと分かるようになった。」といった振り返りをする子どもが見られました。

○ 5年白組 国語「伝わるように構成を考えよう」

【めあて】集めた情報を基に、聞き手が納得する、すいせん文を書こう。



授業の初めに、「みんなとやったら進まなかったの、次は一人でやりたい。」や「名古屋城についてたくさんの情報を集めることができた。」といった前時の授業の終末で書かれた振り返りを紹介しました。次に、本時の授業の見通しをもたせた上で、本時のめあてを設定しました。その後、構成シートの書き方や推薦文の書き方について確認をした上で、自分で本時の学習方法や内容を選択し、学習を進めていきました。

①



【選択内容】

- 【内容】教師が作成した評価規準を参考に、はじめ・中・おわりの到達目標（ルーブリック）
- 【方法】一人で・友達と

②



一人で学習することを選択した子は、教科書を読んだり、ルーブリックを確認したりしながら、聞き手が納得する構成シートや推薦文を作ることができました。

授業の終末には、「一人でやった方が素早くできたので、次も一人でやりたい。」や「一人でやっているとおぼろげに長くなってしまったので、次はグループでやりたい。」といった振り返りをする子どもが見られました。

グループで学習することを選択した子は、それぞれ構成シートを作りながら、よりよいまとめ方について話し合ったり、困っている友達にアドバイスしたりしたことで、聞き手が納得する構成シートや推薦文を作ることができました。

授業の終末には、「友達とやることで、意見が深まったので、さらによい文章ができそう。協力は大事だと思った。」といった振り返りをする子どもが見られました。

○ 6年赤組 国語「物語を書こう」

【めあて】課題に合った学習に取り組み、展開のある物語を書こう。



授業の初めに、「比喻表現の使い方がよく分からなかったので、ロイロノートの資料で調べたら分かって、使うことができた。」という前時の子どもの振り返りを紹介し、理由をもって学習方法を選択することの大切さを確認しました。次に、前時の自身の振り返りから、本時の課題を確認させ、学習方法を選択しながら学習を進めていきました。

①



【選択内容】

- 【方法1】一人で・友達と
- 【方法2】教科書や学習プリント、インターネットなどの資料の活用

②



一人で学習することを選択した子どもは、教科書や学習プリントに書かれた「物語を書くときのポイント」などを参考に、登場人物の気持ちを行動で表現したり、比喻や体言止めを活用したりして、工夫して物語を書いていきました。

授業の終末には、「やま場のところに主人公の気持ちが表れるようにしたいから、そのときの気持ちを想像して、行動や情景描写で表現したい。」といった振り返りが見られました。

友達と学習することを選択した子どもは、互いに物語を読み合い、友達にアドバイスを求めたり、学習プリントに書かれたポイントを基に評価し合ったりすることで、推敲を重ねていきました。

授業の終末には、「友達にチェックしてもらったら、会話文や心の声が少ないことが分かったので、次回は会話文を入れるようにしたい。自分でもチェックしながら進めたい。」といった振り返りが見られました。

○ 6年赤組 保健「生活習慣病の予防」

【めあて】生活習慣病の予防方法を理解しよう。



授業の初めに、キーワード「運動」「食事」「休養・すいみん」を基に前時の学習内容を確認しました。次に、生活習慣病の起こり方や予防方法の理解を目指して学習することを確認の上、本時のめあてを設定しました。

また、本時の学習で考えた生活習慣病の予防方法は、翌日からの行動目標となることを伝えました。その後、子どもは学習課題と学習方法を選び、選んだ理由を基に学習を進めていきました。

①



【選択内容】

- 【学習方法1】一人で・友達と
- 【学習方法2】教科書・教材・インターネット検索（検索先は指定）
- 【学習課題】がん・むし歯と歯周病

②



集中して学習したいからと考え、がんの予防方法について一人で学習することを選択した子は、インターネット検索や教科書を活用して学習を始めた。検索先の情報と教材を見比べ、「ワークシート」に記述する姿が見られました。授業の終末には、自分ができそうな生活習慣病の予防方法を「どうする行動」シートに転記することで、翌日以降の行動目標を確認して、行動意欲を高めることができました。

むし歯・歯周病の予防方法について、もっと知りたいと考えた子は、友達と一緒に教科書と教材を基に学習を始め、自分に合った予防方法を考えました。授業の終末には、学習を振り返り、下記のようにむし歯予防の行動目標を立てることができました。

歯
正
み
が
き

長期間、同じ歯ブラシを使わない

力を入れすぎずペンを持つ感覚

順番を決めてみがき残しをなくす